

■ 事業概要・目的

上ノ代沢3は地形が急峻かつ流域荒廃が進行した土石流危険渓流である。保全区域内には、人家51戸、避難所、県道および市道が存在する。このため、豪雨時に予想される土石流から人命と財産を保全するため、砂防えん堤を整備するものである。

- 主たる保全対象 人家51戸、避難所1箇所、県道170m、市道2,500m
- 工事概要 砂防えん堤1基

■ 位置図



■ 航空写真



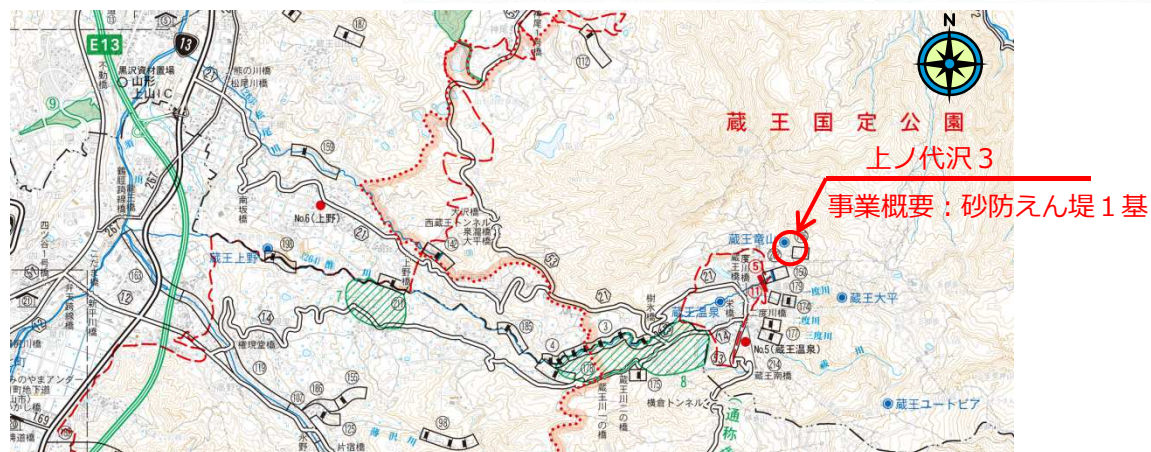
■ 保全対象施設



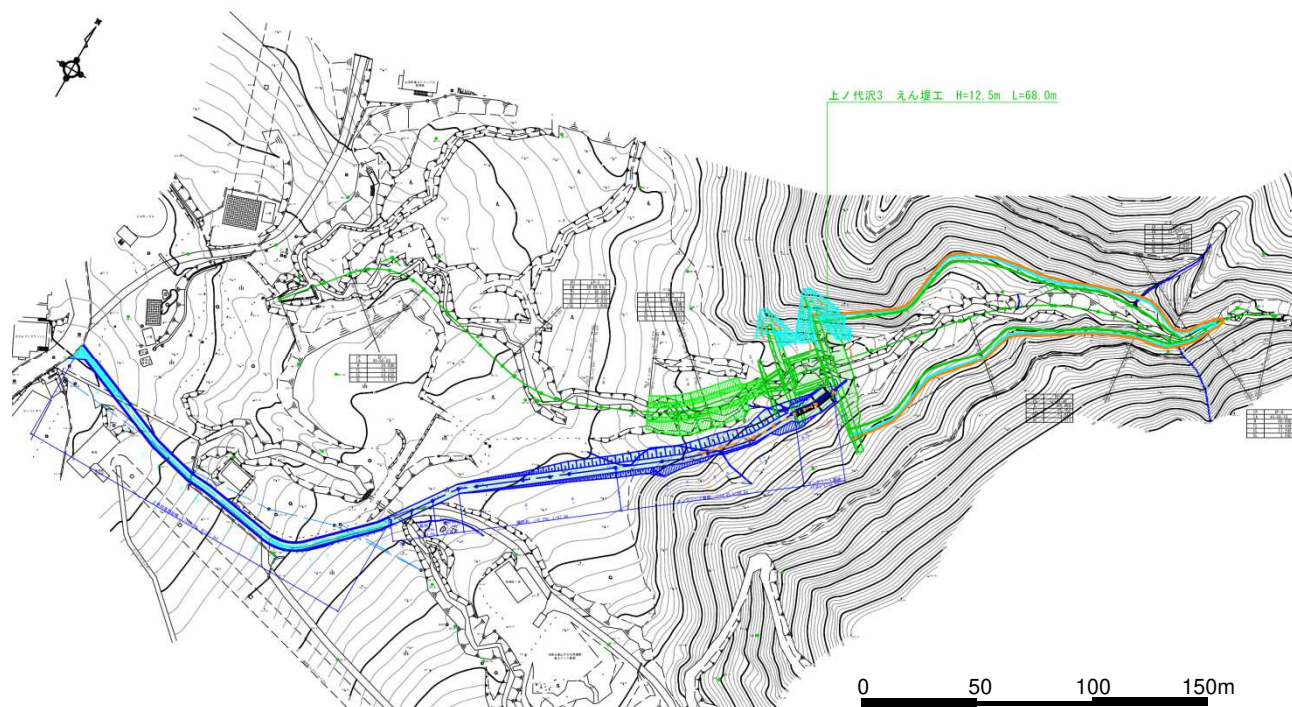
避難所(蔵王体育館)



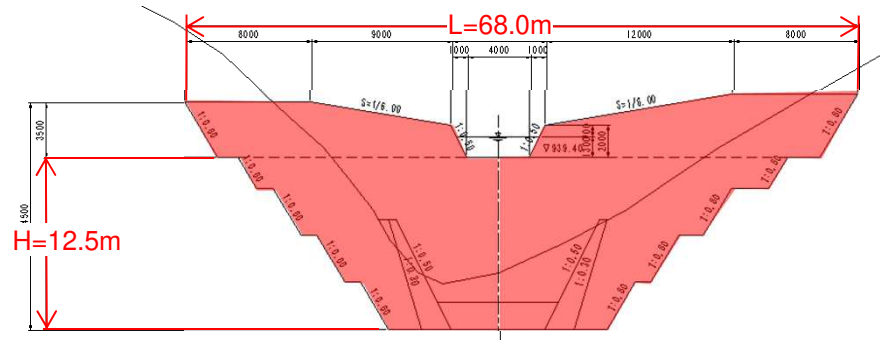
バスターミナル



■ 平面図



■ 計画図



■ 荒廃状況（H27.9月頃）



■ えん堤付近（H29.9月頃）



■ 整備率

$$\text{整備率(\%)} = \frac{\text{施設効果量}}{\text{流出する恐れのある土砂量}}$$

● 流出する恐れのある土砂量:

5,090m³

● 施設効果量(砂防えん堤工):

5,090m³

整備前 0(%)

▶ 現況 0(%) = 0m³/5,090m³

整備後 100(%) = 5,090m³/5,090m³